

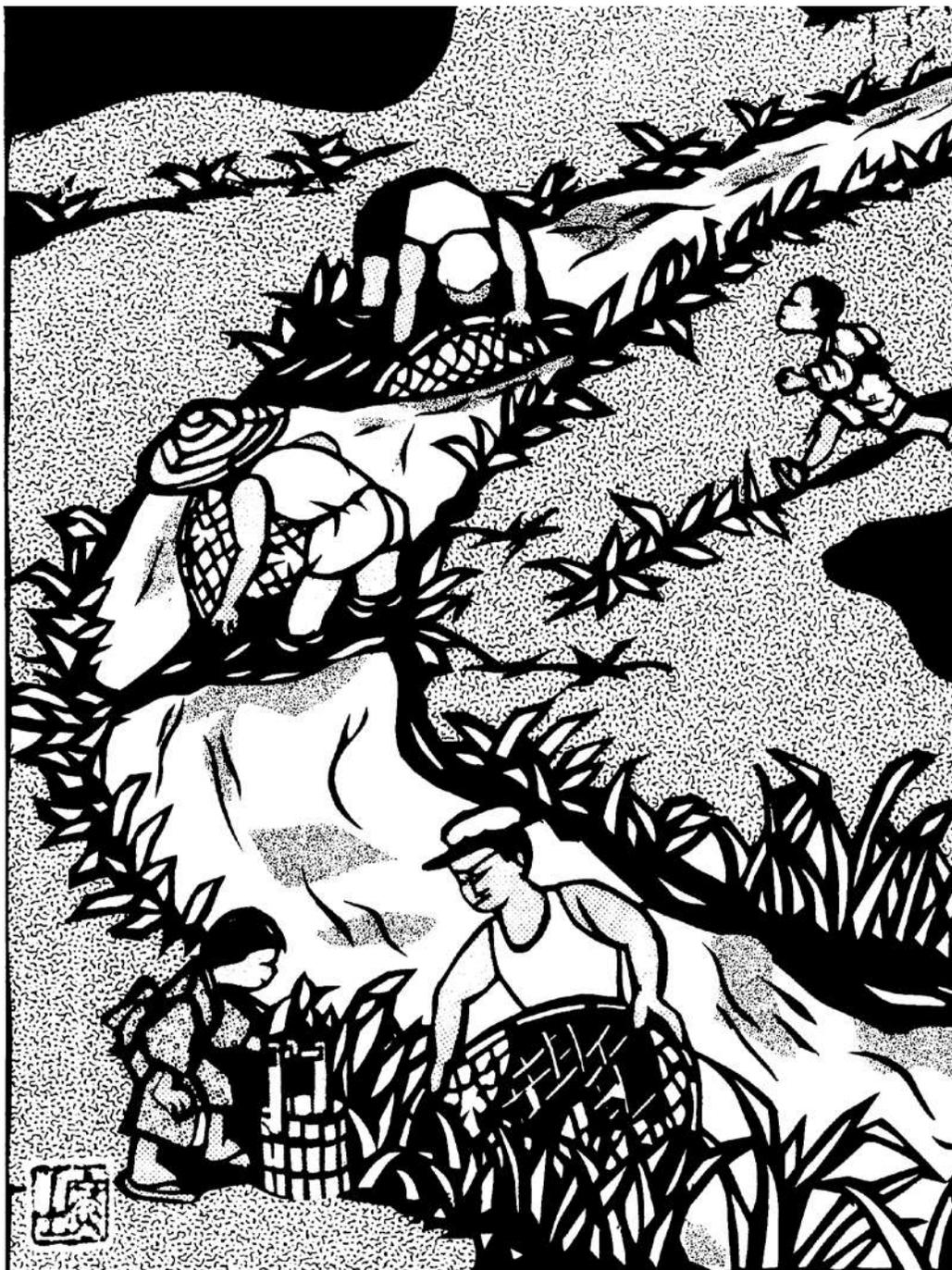
# 東京 肝臓のひろば

令和3年(2021年)8月号

第243号

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201  
電話 (03) 5982-2150 振替 00120-6-40564  
FAX (03) 5982-2151 口座名 東京肝臓友の会  
<http://www.tokankai.com>



ざっこしめ(さかな捕り)―山形県 庄内地方―

ラジオ NIKKEI 「大人のラヂオ」

2021年5月14日放送

テーマ

## 脂肪肝・NASH について

【ラジオ NIKKEI 第1】

- 第2金曜日 11:35 ~ 12:30
- 第3月曜日 21:30 ~ 22:25 [再放送]

ゲスト

愛知医科大学肝胆膵内科 教授

米田 政志 先生



## 米田先生プロフィール

今回は脂肪肝・NASH（ナッシュ）についてお送りします。ゲストは愛知医科大学内科学講座教授の米田政志先生です。ちょうど消化器病学会が東京で開催されていて、先生にスタジオにおいでいただきました。

先生に最初にお会いしたのは1年少し前ですね。愛知医科大学で医療コーディネーターのスキルアップ研修会があって、私が患者について少しお話しさせていただきました。あのときはまだそこまで新型コロナウイルスの感染が広がっていない時期でした。

米田 2020年の2月ですね。

米澤 はい。ではここで、米田先生のプロフィールをご紹介します。1957年、本籍は

東京とのことですが栃木県出身、弘前大学医学部ご卒業後、同大学院、旭川医科大学、獨協医科大学を経て、現在愛知医科大学肝胆膵内科の教授でいらっしやいます。先生が開発した非アルコール性脂肪性肝炎に対するビタミンE療法、アンギオテンシンII受容体拮抗薬の効果、及びファイブロスキヤンを用いた肝線維化の非侵襲敵評価法を世界に先駆け実践し、世界中の診療ガイドラインで採用されています。この間、米国UCLAに留学をされておられます。

主な著書に、中山書店の『内科学書』『新臨床内科学』『臨床消化器病学』『標準生理学』等があります。趣味はテニス、映画鑑賞。モットー：座右の銘は「科学は嘘をつかない」です。

米澤 お父様が開業医というところで、お医者さんになられたのはお父さまの影響が強いので

すか？

米田 はい、影響というか、私の時代、いまもそうかもしれないが、親が医者だったら、ちよつと成績よければ当然長男は医学部へ行くだろうというような感じで、選ぶことができませんでした。チョイスがないというか(笑)。

米澤 なるほど。他に何かありませんか？

米田 私は物理と数学が好きだったので、本当は理学部に行きたかったんですけど、ただまあ、自分の能力を考えると物理や数学は本当に天才でない生きていけないので、最終的には医学部でつぶしが利く医者になりました(笑)。

米澤 先生、そんなこと言ってますか？

### 科学は嘘をつかない

米澤 それから座右の銘が「科学は嘘をつかない」ということですが。

米田 はい。私は弘前大学出身ですが、第2内科に入局した当時の教授が科学・医学に真摯な方で、「科学は嘘をつかないから、一生懸命やっていたら必ず結果が出ます」と言われて、それを信じてここまで生きてきました。

米澤 最近、コロナのことですごくこの言葉を実感します。科学やエビデンスに基づいてコロナ対策を進めていくべきだと。日本はちゃんとできているのかなあ、ということを日々感じているところです。

先生は臨床だけでなくご研

究もずっと続けられているんですよ。

米田 よく学生や若い人に、「フィジシャン・サイエンティストになれ」と言うんです。フィジシャンは医者、サイエンティストは科学者。我々医者とい

うのは、医学部で6年間も勉強しますので、ただ医師免許を取るための勉強では、私はないと思います。患者さんから投げかけられた臨床での問題点を元に、それをフィードバックでやるような研究をして、それで臨床に戻すということをする。ただ国家試験に受かるだけなら、6年間も勉強しなくてもいいと思いますので、そのように若い人たちに私は話しております。

### 忘れられない患者の思い出

米澤 では、いままで長く臨床に携わってこられたなかで、忘れられない患者の思い出はありますか。

米田 その命題をいただいて、ずっと考えていたのですが、私が旭川医科大学にいるとき、中学3年生のB型肝炎の女の子を担当しまして、その方は、その年齢でもう肝がんになっていたんですね。

米澤 10代の女の子ですか。

米田 14歳、15歳でした。小児科で診ていたんです。小児科の先生で肝臓が得意な方がたまたまおられなくて、私のところに来たときは、もう手をつけられない状態で、結局亡くなってし

まいりました。その子はお母さんがB型肝炎だったんです。

米澤 母子感染ですね。

米田 そうなんです。1986年より前の方だとまだ母子感染でうつる方がいて。

米澤 いまはワクチンがありませんけど、当時はまだですね。お母さんがB型肝炎だと、お子さんに感染してしまうという。

米田 そのときはまだワクチンがなかった頃で、お母さんが罪の意識をすごく感じていらして、おばあちゃんもB型肝炎だったので、おばあちゃんが「私が代わってあげたい」と言いながら、その子が亡くなっていったのが、すごく印象に残っていますね。なんとかしたいなという思いで。

そのときその子は中学3年生

だったんですね。3年生の春、3月に入院されたので、高校の

入学式にも行けなかったんです。高校の制服は作っていたのですが、腹水が溜まってしまったもう着られない状況で。でも本人は「1日だけでも高校に行きたい」と希望していましたので、腹水を抜けるだけ抜いて、それで制服を着せてあげて、1日だけ高校に登校してもらいました。でもその数日後に亡くなってしまいました。もしかしたら腹水を抜いて行かせたことが、命を縮めたかなという後悔もあるんです。でも高校に1日も行かせてあげられたら、という気持ちと闘って出した結論です。

米澤 ご家族もおそらくそれを望まれて、1日でも高校に行かせてあげたのだと思いますし、ご本人も夢がかなったというか、希望がかなって嬉しかった

のではないのでしょうか。

米田 病院に帰ってきて、「同級生たちと話せてうれしかった」と言われたのが、僕にとっては本当に救いでした。

米澤 病院から登校して、病院に帰ってきたんですね。

米田 そうです。行く直前の朝に2リットルか3リットルの腹水を抜いて、スカートが入るようになって、数時間だけ高校に行って戻ってきて、またお腹がパンパンという状況でした。

米澤 そうですか。その時代はそのような状況だったんですね。

米田 治療ができなかったんです。

米澤 お子さんということで大

変お気の毒ですね。

## 脂肪肝・NAFHの患者数

米澤 さて、ここからは脂肪肝・NAFHについてお話を伺いたいと思います。

まずNAFHについては、いままでも番組でも何人かの先生に来ていただいて、お話を伺っているのですが、「あなたはNAFHです」と言われた方はご存じかと思いますが、一般の方にNAFHはまだまだそこまで浸透していないかと思えます。NAFHとはどんな病気でしょうか。

米田 1980年に提唱されたわりと新しい病気なんです。いわゆる昔から言われている脂肪肝です。脂肪肝はお酒によるものと、お酒を飲まなくても



# 情報BOX

## ◆八王子肝友会

「何でも語ろう会」

日時 10月10日(日) 10時10分  
から12時まで

場所 八王子市民活動支援  
センター

八王子市旭町12-1

ファルマ802ビル5階

(京王線京王八王子駅徒歩3分、  
JR中央線八王子駅徒歩3分)

申込 不要 直接会場まで

参加費 無料

問合せ 090-4122-6229

東(ひがし)

今号の表紙絵

「ぎっししめ(さかな捕り)」

山形県 庄内地方

(再掲載)

この切り絵は昭和20年代当時の様子。田んぼの雪も出羽三山のゆきも解ける3月末。田んぼや小川には、フナやタナゴがふ化し、あぜ道に立つと稚魚が蜘蛛の子を散らすように逃げていく。

五月になるとおたまじゃくしもふ化し、田んぼが一面小魚の運動場になる。この頃がぎっししめの良い時期であった。

(切り絵と文 佐藤廣士)



## 書籍のご紹介

### 第1章

肝臓病とうまくつき合っていくには?  
教えて! 肝臓病Q&A

### 第2章

肝臓病を悪化させないために一肝臓を守る食事—  
慢性肝炎~肝硬変代償期の人の食事  
C型肝炎の人の食事(鉄制限)  
肝硬変非代償期の人の食事  
肝硬変非代償期で症状が重めの人の食事

スタッフ  
おすすめ!

病態監修 加藤真三 慶應義塾大学看護医療学部教授  
栄養指導・献立 鈴木和子 大木いつみ  
慶應義塾大学病院食養管理室

東京肝臓友の会で販売しております。

【書籍代】1,540円 + 【送料】200円

お電話・FAXにてお申込みください。

電話: 03-5982-2150 FAX: 03-5982-2151

(火・木・金曜日\*祝日を除く、10時~16時)



◆ウイルス性慢性肝炎、肝硬変(代償期・非代償期)の食事療法や具体的な献立をふんだんに紹介しています。

# 同病者による面談相談

新薬のこと、治療のこと、なんでもお気軽にご相談ください

日時：**8月30日(月)** **9月30日(木)** **10月30日(土)**  
13時30分～16時30分(1人1時間)

場所：東京都障害者福祉会館1階 相談室

対象：東京都在住、在勤の方優先

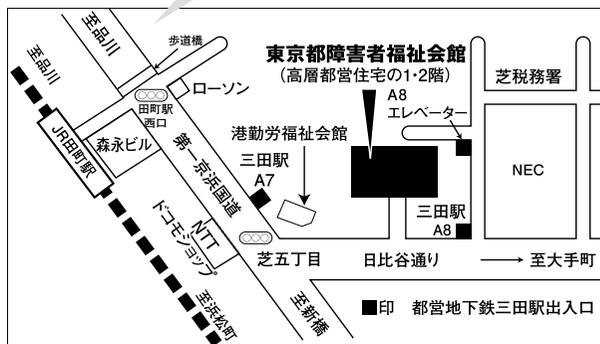
主催：東京都

相談料：無料(予約制)

相談員：米澤敦子(東京肝臓友の会 事務局長)

## 【交通案内】

- ◆JR「田町駅」西口徒歩5分
- ◆都営三田線「三田駅」出口A8 徒歩1分
- ◆都営浅草線「三田駅」出口A7 徒歩1分



## 申込方法

※電話でお申し込みください。

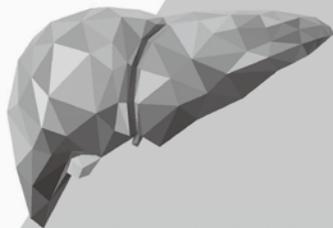
【申込先】 都障害者福祉会館相談係  
〒108-0014 港区芝5-18-2  
☎ 03(3455)6321

## 書籍のご紹介

# 肝炎のはなし HEPATITIS STORY

巨大感染症の発見と  
その克服の30年

竹原徹郎 [著]



朝倉書店

- 第1章 C型肝炎ウイルスの発見
- 第2章 ウイルスの発見がもたらしたこと
- 第3章 C型肝炎のインターフェロン治療
- 第4章 DAAの時代—直接作用する抗ウイルス薬
- 第5章 DAAがもたらした「新しい肝臓像」
- 第6章 これからの肝疾患

大阪大学医学部教授で日本肝臓学会理事長の竹原徹郎先生の著書です。C型肝炎の歴史を、非A非Bの時代から完治できるようになった今日まで詳しく解説しています。C型肝炎を克服したみなさん、「肝炎のはなし」を読んでご自身の療養の歴史を振り返ってみませんか。

【書籍代】2,970円 + 【送料】200円

お電話かFAXにてお申込みください。

電話：03-5982-2150 FAX：03-5982-2151